



SDGsプロジェクト



4 質の高い教育を
みんなに



目標4

質の高い教育をみんなに

目標内容は、すべての人に包摂的かつ公正の質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

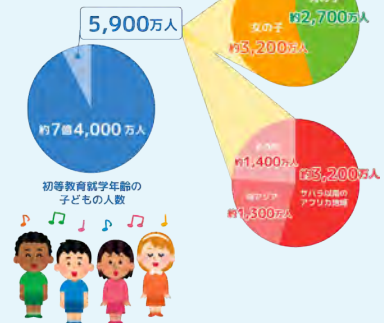
世界の現状 学校が近くになかったり、先生がいなかったりを理由に、世界には初等教育(小学生程度)を十分に受けることのできない子どもたちが約5,900万人もいると言われています。

また、労働をせざるを得ない環境におかれていたり、紛争などを原因に学校に行けない子どもの多くは字を習うことができず、15歳以上の約6人に1人は読み書きができないと言われています。

教育の必要性 教育は、SDGsの達成において重要な鍵を握っています。

- 質の高い教育を受けることができれば、人は貧困の連鎖を断ち切ることができます。
- 不平等の是正とジェンダーの平等達成に貢献します。
- 健康で持続可能な生活を送る知恵を得ることができます。
- 人々の間で寛容の心を育み、より平和な社会の実現にも貢献します。

教育を十分に受けることのできない子どもたち



沖縄県の現状 日本は世界と比べて教育環境が充実している一方で、全国と沖縄を比較すると課題があります。

沖縄県では全国と比べて、子供の貧困や県民1人当たりの所得が低いことなどが原因となって、教育環境が全国と比べて低い状況となっています。

一方で、「全国学力・学習状況調査」では緩やかに改善傾向にあり、小・中学校ともすべての科目において、全国と比較して平均正答率は±10%の範囲内となっており、大きな差はみられなくなりました。

今後も継続的に学力向上及び教育環境の充実を図ることで、沖縄県の貧困問題を解決する鍵にもつながります。

指標	沖縄	全国
子供の貧困率(%)	29.9	13.5
1人当たり県民所得(千円)	2,391	3,317
非正規の職員・従業員率(%)	43.1	38.2
生活保護率(%)	26.6	16.2
高校中退率(%)	1.7	1.1
高校進学率(%)	97.7	98.9
大学等進学率(%)	40.8	57.4

参考: 子供の貧困に関する指標(沖縄県の状況) - 内閣府 学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII - 沖縄県教育委員会

恩納村ではこんな授業をしています! 『PROJECT1 UNNA魂』

うんな中学校3年生が考案したプロジェクト名で、この活動はSDGsの取り組みのもと、2030年まで様々な分野の地域課題を、中学生が主体となって社会とのつながりを感じながら課題解決に向けて取り組む活動です! 令和3年度は、村の特産品がお土産として消費されていない課題に対して地域の魅力ある商品開発に取り組みました!



村では、SDGsを活かした学びの実践でESD (Education for Sustainable Development) 「持続可能な開発のための教育」に取り組んでいます。ESDの大きな目的は「持続可能な社会の創り手を育む」ことです。

中学生のうちから地域社会の課題を解決に向け、あらゆる分野と連携し持続可能な社会を考えることで、次世代の村を担う人材となることを期待しています。

お問い合わせ: 恩納村SDGs推進事務局(企画課内) ☎966-1201 ✉sunna.sdgs@gmail.com



恩納村のSDGs
取組情報